

南海トラフト地震に備えて

近い将来、発生することが予測されている南海地震は、尼崎市内に震度5弱程度の揺れと地震発生後110分以内に最大6mの津波による被害をもたらすであろうと予測されています。

3年半前に発生した東北大震災では、とてもショックなことに一般の人よりも約倍近くの障害をもつ仲間やお年寄りが津波などの「逃げ遅れ」が原因で犠牲になったと言われています。

私たちは、東北の障害をもつ仲間と福祉作業所などの関係者の方より学んだ経験や教訓を生かし、南海トラフト地震から自ら「自分自身の命」を守ると共に、すべての障害をもつ仲間が逃げ遅れて、「命」を落とすことがないように、今から避難経路の確認、緊急時の連絡方法の確立、避難場所の確保などの災害時に柔軟に、いつでも対応することができるように備える必要があります。

実際、避難訓練をして感じたこと

毎年1月に行われている大庄地域の避難訓練に参加したり、今年の春にはちょうど3.11の日に「津波地震」を想定して、実際に工房から競艇場の3階まで避難する訓練を消防署・大庄地域の作業所スタッフの方の協力のもとで実施しました。

地域の避難訓練では、地域の方々と共に小学校の3階まで消防士の方に車椅子ごと抱えて貰い避難しました。

地域の避難訓練に初めて参加した頃は、まだ工房が設立してから一年足らずで、工房自体の知名度あまり地域の中でも薄かったのですが、避難訓練に参加して、少しずつ大庄地域や工房の近隣の方々に工房の存在を知って頂くきっかけの一つになりました。

地域のイベントに誘って貰ったり、年の瀬の時期になれば年賀状の印刷を注文して頂けるようになりました。

当工房は、スタッフも含めて障害者でやっぱり災害などの緊急時には、多かれ少なかれ地域の方々に手助けして貰うことが必要なので、日頃より地域の避難訓練や祭りなどのイベントに積極的に参加することで「私たちの存在」を少しでも知って貰うことが大事だと思いました。

また、競艇場への避難訓練では、実際の避難訓練を企画していく段階ではスタッフ間で、「津波被害が少ないとされている競艇場の3階以上に円骨に避難するためには、工房附近の方や近辺のヘルパー事業所の方に日頃より緊急時に支援をしてもらうようお願いすることで、3階まで車椅子を抱えて一緒に避難してもらう人員を確保しておく必要があるのでは・・・」と話していました。

訓練当日、競艇場の方より「ここは、市の津波指定避難場になっていて、24時間いつでも津波地震が起こったら、パトランプが点滅して正門・西門ともに自動的に開門されるようになっているし、大庄地域の多くの方がここには、避難して来られると思うし、災害などの緊急時には助け合いの精神で、避難してくる人も階段を3階まで上げるのは手伝って貰えると思うので、競艇場まで避難さえ出来たら何とかありますよ」とアドバイスを下さいました。

11月の日程

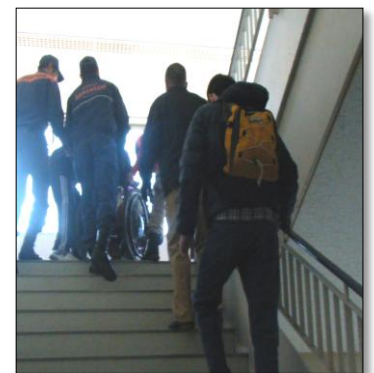
11/5(火) わっしょいカーニバル
に参加しました。

※今年も市内の作業所や施設の仲間やスタッフが集まり、各作業所のステージ発表やビンゴゲームで盛り上げました。

11/9(土) 市民福祉の集い

※東北の障害者作業所の作業品を販売するブースを出店しました。

※、今回も多くの方に、東北の作業所の物品を購入して頂きました。
有難うございました。



幸いのに、地震発生から津波が到着するまでに 110 分も時間があるので、「工房から競艇場の建物の入口まで避難すること」が出来たら、所員・スタッフ 1 人も残らず津波などの犠牲にすることがなく避難することができると思いました。

しかし、私たち障害者やお年寄り、どれほど津波の到着時間までに時間があったり、近隣に「頑丈な津波避難所」があっても車いすや杖などで自力では「高い所への避難場所」に避難することは、極めて困難で、やっぱり車椅子ごと抱えたり、一緒に歩いて高台に避難して下さる地域住民の方や関係機関の方々の手助けをしてもらうことが必要になります。

それには、地震などの緊急を要する災害時のときだけ、地域の方々に協力や支援を求めてお願いしたりするのではなく、私たち障害者も日頃より即戦して、町内会などの役割を任せていくことで、互いに「持ちず、持たれずのコミュニティ社会」を築いていくことが必要不可欠だと考えています。

あまがさき市民祭りに参加しました・・・



10月14日あまがさき市民祭りがありバタークッキーやかりんとうなどの東北の作業所の物品を販売するブースを出店しました。

当日は晴天にも恵まれ、汗ばむほどの陽気でした。

今回は東北支援関連の物産展が立ち並ぶ橘公園でブースを構えました。

去年、市役所前でブースを構えたときよりも人通りが少なかったのですが、近くに子供向けのミニ SL のコーナーがあり、中にはバタークッキーやかりんとうを試食して 美味しいと言ってくれ購入してくれた子供たちや親子連れも多くいました。

また嬉しいことに、「パソコン工房は、今年どこでブースを構えているんだろう」とわざわざ探して来て下さり、かりんとうや味みそを購入して下さった方もおられました。

東北の作業所の物品販売支援もこのような市民の方々のお陰でもう 3 年あまりも続けられていることができていると感じています。

これからも東北の作業所の物品販売支援事業は、継続していきたいと考えていますのでご協力のほど、よろしくお願いします。



ふらっと写真散歩

今月も D さんが先月、島根県へ旅行に行ったときの写真を届けてくれました。

これから島根・鳥取などの山陰地方では、本格的な紅葉や松葉ガニのシーズンになるので、皆さんも観光に訪れてみてはどうですか？

～60 年ぶりの“平成の大改修” 出雲大社の遷宮が終わって賑わっている島根県に出掛けました。～

出雲大社本殿



松江城



日御碕灯台



参道にある銅像

大国主命と縁結びの玉



八重垣神社 占い

早く沈んだら早く願いが叶う とか？



日御碕から

経島（ふみしま）を望む

